

2018年8月31日
三菱アセット・ブレインズ株式会社

武蔵野銀行で預り資産営業支援システム「ASSET DIRECTION」シリーズ導入

投信コンサルティング会社の三菱アセット・ブレインズ株式会社(本社:東京都港区、取締役社長:本岡 真、以下「MAB」)は、金融機関リテール業務での預り資産営業支援システム『ASSET DIRECTION(アセット・ダイレクション)』シリーズを2010年度より展開しております。今般、武蔵野銀行での採用が決定され(2019年3月稼働開始予定)、これにより、累計導入実績は17行となります(専用パッケージを開発・導入しているメガバンク等を除く)。

投資信託をはじめとするリスク商品を販売する金融機関には、真に顧客本位の業務運営を実現し、顧客の安定的な資産形成を進める役割・責任(フィデューシャリー・デューティー)があります。従来の個別商品販売中心の営業スタイルから脱し、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握したうえで、当該顧客にふさわしい提案を行うという、深度あるコンサルティング営業を実践していくことが求められています。

このような中、武蔵野銀行では「お客さま本位の提案営業」を実践すべく、預り資産における「提案・販売活動の質向上」と「事務効率化」を実現する最適な販売フローの再構築に向け、MABを含む8社と共同でシステムの企画・開発に取り組むことに合意しました。この取り組みが目指すところの一つに、行員誰もが真のお客さまニーズをとらえた質の高い預り資産販売ができる業務スキームの構築があり、その実現に資するツールとして他行・他社資産を含めたポートフォリオ分析を可能とするMABの『ASSET DIRECTION』が採用されることとなりました。

『ASSET DIRECTION』は、顧客の預り資産について、投資対象別、通貨別、地域別の分散状況を提示するほか、投資対象のリスク・リターン分析や資産配分シミュレーションを行うなど、先進的な機能を有する、まさに営業現場改革の切り札と言えます。

MABでは『ASSET DIRECTION』シリーズの他にも、投信窓販支援型ロボアドバイザー『ミライノサン』をはじめ、金融機関の担う「フィデューシャリー・デューティー」を実践するためのソリューションを今後も企画開発、展開してまいります。

■ ASSET DIRECTION 導入行

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| ➤ 常陽銀行 | ➤ 北洋銀行 | ➤ 南都銀行 |
| ➤ 西日本シティ銀行 | ➤ 伊予銀行 | ➤ 東京スター銀行 |
| ➤ 福岡銀行 | ➤ 山梨中央銀行 | ➤ 京都銀行 |
| ➤ 熊本銀行 | ➤ 千葉銀行 | ➤ 四国銀行 |
| ➤ 親和銀行 | ➤ 沖縄銀行 | ➤ 武蔵野銀行 |
| ➤ 百十四銀行 | ➤ 北越銀行 | |

※上記は導入決定順

※武蔵野銀行は 2019 年 3 月稼働開始予定

■ 会社概要

会社名 : 三菱アセット・ブレインズ株式会社
住所 : 〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル西館 8 階
代表者 : 取締役社長 本岡 真
設立年月日 : 1998 年 12 月 25 日
資本金 : 4 億 8 千万円

■ 本件に関するお問い合わせ先

マーケティンググループ : 小川
TEL : 03-6721-1034
e-mail : fiduciaryduty@mab.co.jp

以上